

臨床研究に関する情報公開文書

2025 年 6 月 5 日作成

当院に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」

（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号）の規定により、

研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】

胃 ESD 後の遅発性出血に対する予防法のリスク別評価：低リスク患者におけるクリッピングの有効性と PGA シート追加の不確かな効果

【研究代表機関名・長の氏名】

昭和医科大学江東豊洲病院・病院長 横山 登

【研究代表者名・所属】

昭和医科大学江東豊洲病院・消化器センター 安孫子怜史

【研究の目的】

当院における胃内視鏡的粘膜下層剥離術後の後出血率を検討すること

【研究の方法】

○対象となる患者さん：

釧路ろうさい病院と市立函館病院において、2018 年 4 月から 2024 年 3 月までに胃内視鏡的粘膜下層剥離術後に凝固とクリッピングを組み合わせた MSCC 法および、MSCC 法にポリグリコール酸（PGA）シートとフィブリン糊を追加した PMSCC 法を行った方。

○利用するカルテ情報：

カルテ情報：診断名、年齢、性別、生活歴、家族歴、既往歴、内服歴、治療中疾患、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査など）、治療方法、合併症、予後

上記のカルテ情報は研究用 ID を用い、個人の特定につなげることが不可能な状態で、調査表に記入され研究代表者へ提出されます。

【共同研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名】

釧路ろうさい病院 ・宮城島 拓人・篠原 信雄

【既存情報の提供を行う機関名・研究担当者名・機関の長の氏名】

市立函館病院・ 山本 義也 ・森下 清文

【研究実施期間】

実施許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

(情報の利用開始：2025 年 6 月頃)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

※上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【研究代表機関の連絡先・相談窓口】

東京都江東区豊洲 5 丁目 1-3 8

昭和医科大学江東豊洲病院・消化器センター 安孫子怜史

電話：03-6204-6000

【当院の連絡先・相談窓口】

北海道函館市港町 1 丁目 10 番 1 号

市立函館病院・消化器内科 山本 義也

電話：0138-43-2000（代表）